

2012年12月14日

トヨタ自動車東日本株式会社

宮城大和第3工場 竣工・エンジンラインオフ式 開催

トヨタ自動車東日本株式会社（本社:宮城県黒川郡大衡村中央平1番地 取締役社長:白根 武史）は、2012年12月14日（金）に、宮城大和第3工場の竣工・エンジンラインオフ式を行い、稼働を開始いたしました。

今回竣工した工場はトヨタグループとして東北初のエンジン工場となり、小型ハイブリッド車（HV）「アクア」用の1500ccエンジンを生産し、弊社岩手工場（岩手県金ケ崎町）に供給します。

式典は、国土交通省東北運輸局 長谷川局長、経済産業省東北経済産業局 山田局長、宮城県村井知事を含め関係者約80名を招き開催いたしました。

冒頭、社長の白根より、「今回のアクアエンジンの組立開始により、ユニットから車両生産まで一貫して東北で生産できる体制が構築出来た。コンパクト車づくりに磨きをかけ、東北復興に微力ながら貢献したい」と述べました。

続けてトヨタ自動車株式会社 新美副社長は、「トヨタとして東北初の念願のエンジン工場を竣工することができた。今後は部品の現地調達拡大を進め、東北全体の付加価値向上と、競争力あるモノづくりを実現していきたい」とご挨拶されました。

また、宮城県 村井知事からは「震災復興のエンジンとなって欲しい。東北6県としてトヨタ自動車東日本の生産活動を支えながら、一緒に発展し、東北復興に繋げて行きたい」とのご祝辞をいただき、最後に、玉野工場長、生産部エンジン製造課・岡崎課長と労働組合・折笠支部長の3名により、締め付けボルトのトルクチェックが行われ初号基がラインオフしました。

【工場概要】

生産品目	小型HV用エンジン
構造	鉄骨一部2階
延べ面積	8700平方メートル
生産能力	年間約10万基

以上